

地域森林計画の樹立及び変更について

～令和3年度第2回北海道森林審議会諮問事項～

令和3年12月
北海道

[説明内容]

1. 地域森林計画について
2. 地域森林計画の樹立について
 - (1) 留萌地域森林計画区
 - (2) 釧路根室地域森林計画区
3. 地域森林計画の変更について

1. 地域森林計画について

地域森林計画

森林計画区(全道13計画区)別に5年ごとに10年を1期とした計画で、森林の整備及び保全の目標等を明らかにするとともに、市町村森林整備計画の策定に当たっての指針となる計画。

【主な計画事項】

- ・対象とする森林の区域
 - ・森林の整備及び保全に関する事項
 - ・伐採立木材積等伐採に関する事項
 - ・造林面積その他造林に関する事項
 - ・間伐立木材積等間伐及び保育に関する事項
 - ・公益機能別施業森林の整備に関する事項
 - ・林道開設等その他林産物の搬出に関する事項
 - ・森林の保護に関する事項
 - ・森林の土地の保全に関する事項
 - ・保安施設に関する事項
- 等

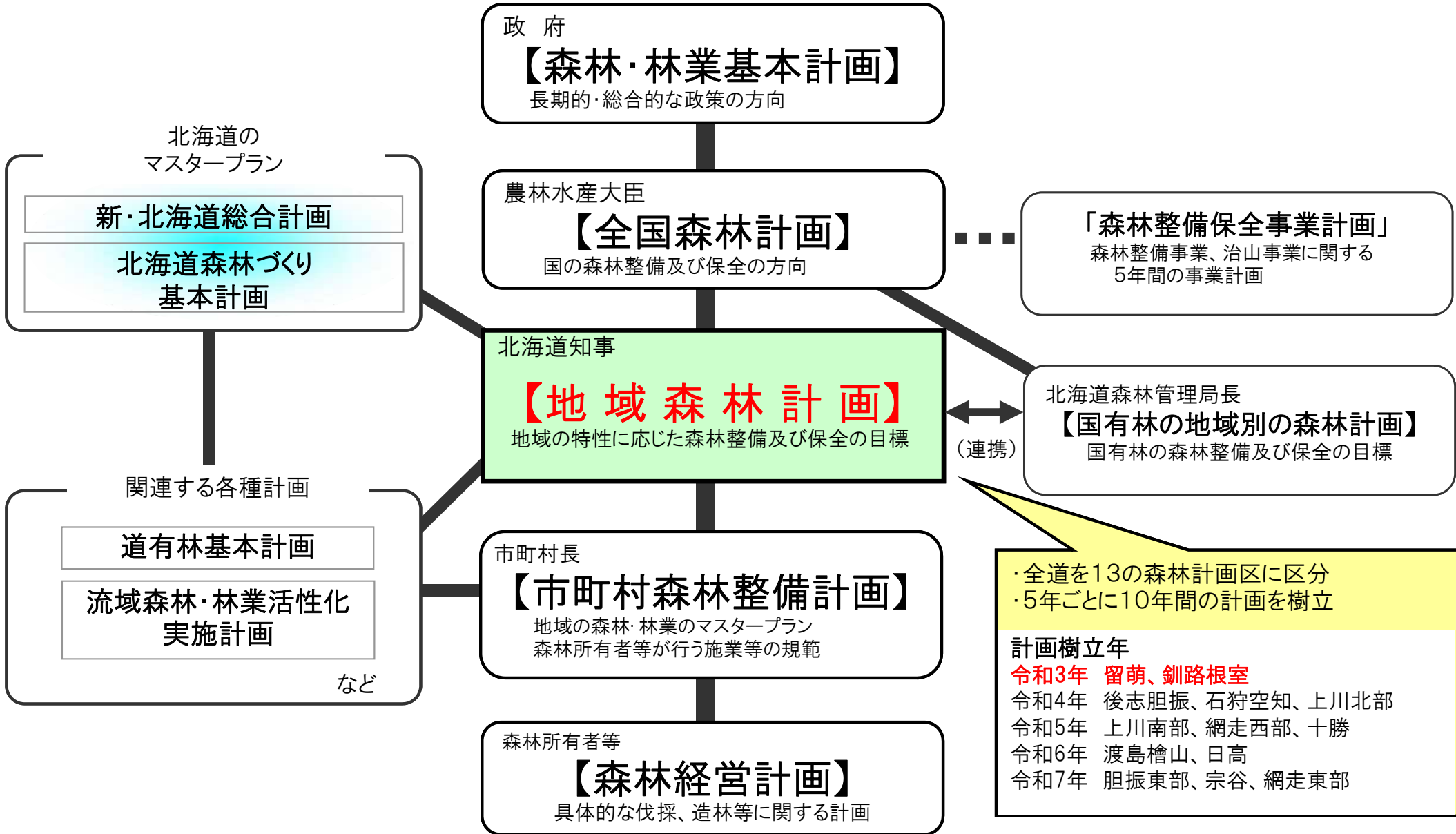
森林審議会への諮問

都道府県知事は、(中略)当該地域森林計画の案について、都道府県森林審議会及び関係市町村長の意見を聴かなければならない。(後略)

(森林法第6条第3項)

1. 地域森林計画について

森林計画制度の体系

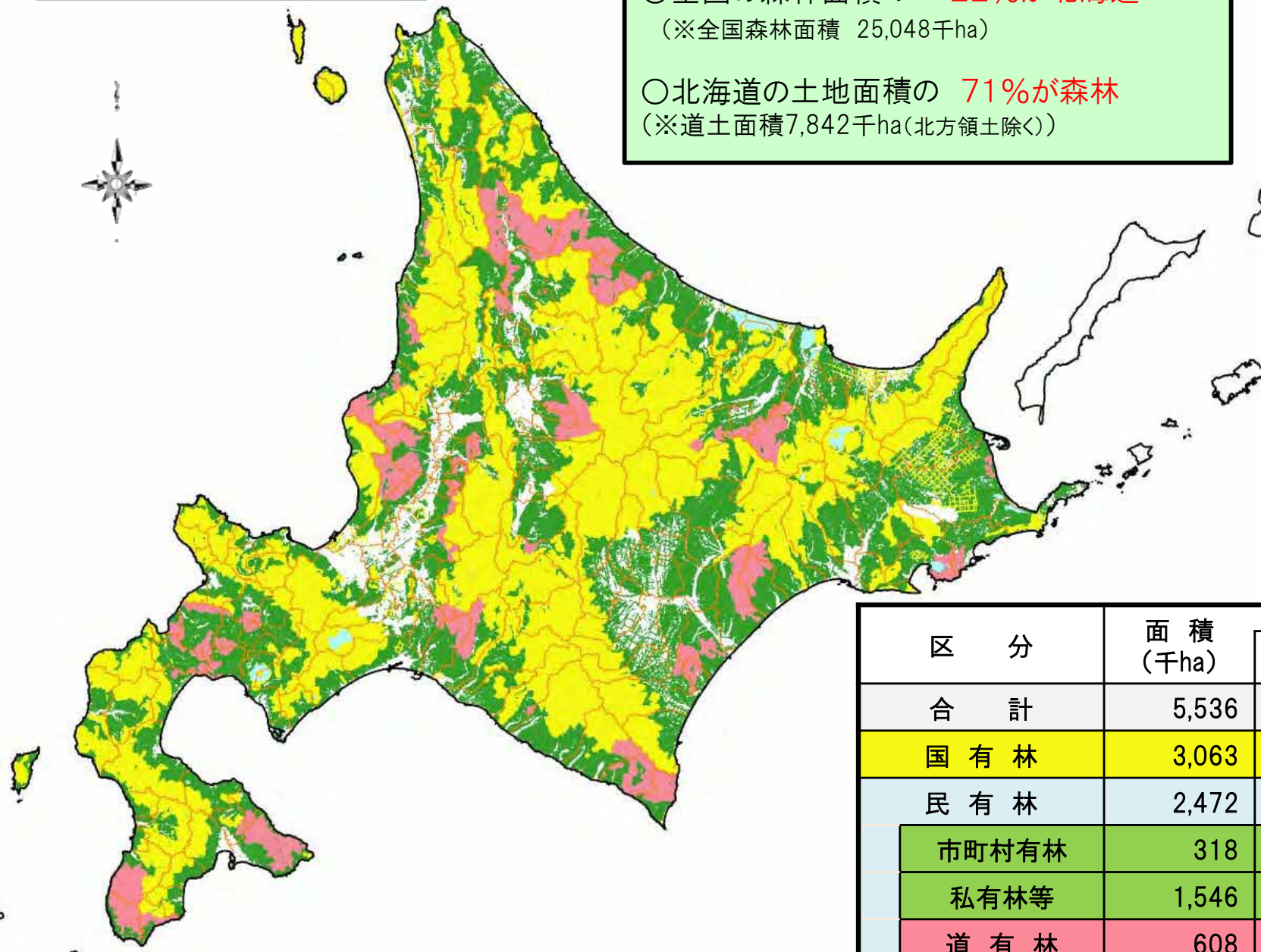


1. 地域森林計画について

北海道の森林

○全国の森林面積の **22%が北海道**
 (※全国森林面積 25,048千ha)

○北海道の土地面積の **71%が森林**
 (※道土面積7,842千ha(北方領土除く))



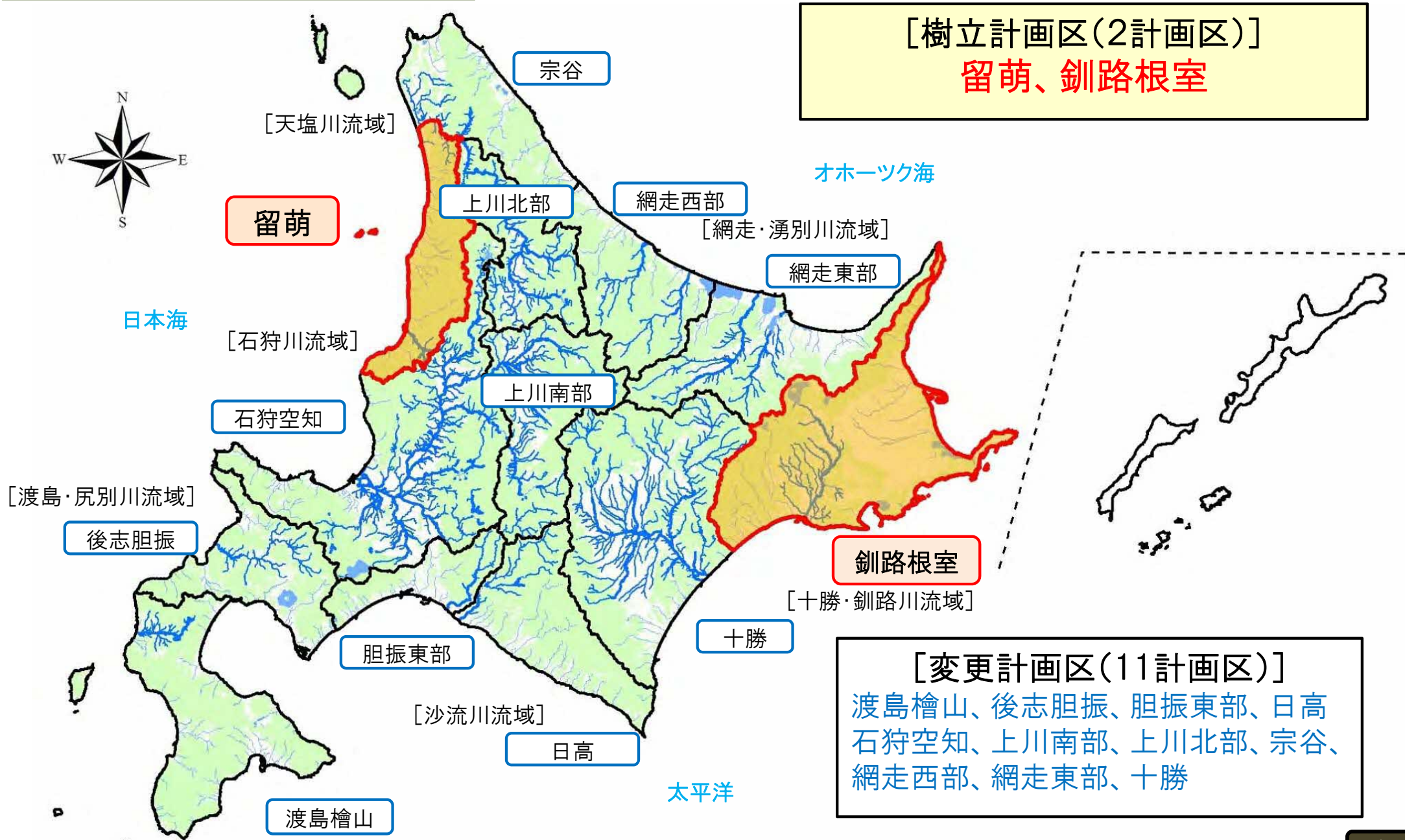
国有林
 市町村有林・私有林等
 道有林

区 分	面 積		蓄 積	
	(千ha)	割合(%)	(千m3)	割合(%)
合 計	5,536	100	819,983	100
国 有 林	3,063	55	441,822	54
民 有 林	2,472	45	378,161	46
市町村有林	318	6	53,651	7
私有林等	1,546	28	224,443	27
道 有 林	608	11	100,068	12

(令和2年4月1日現在)

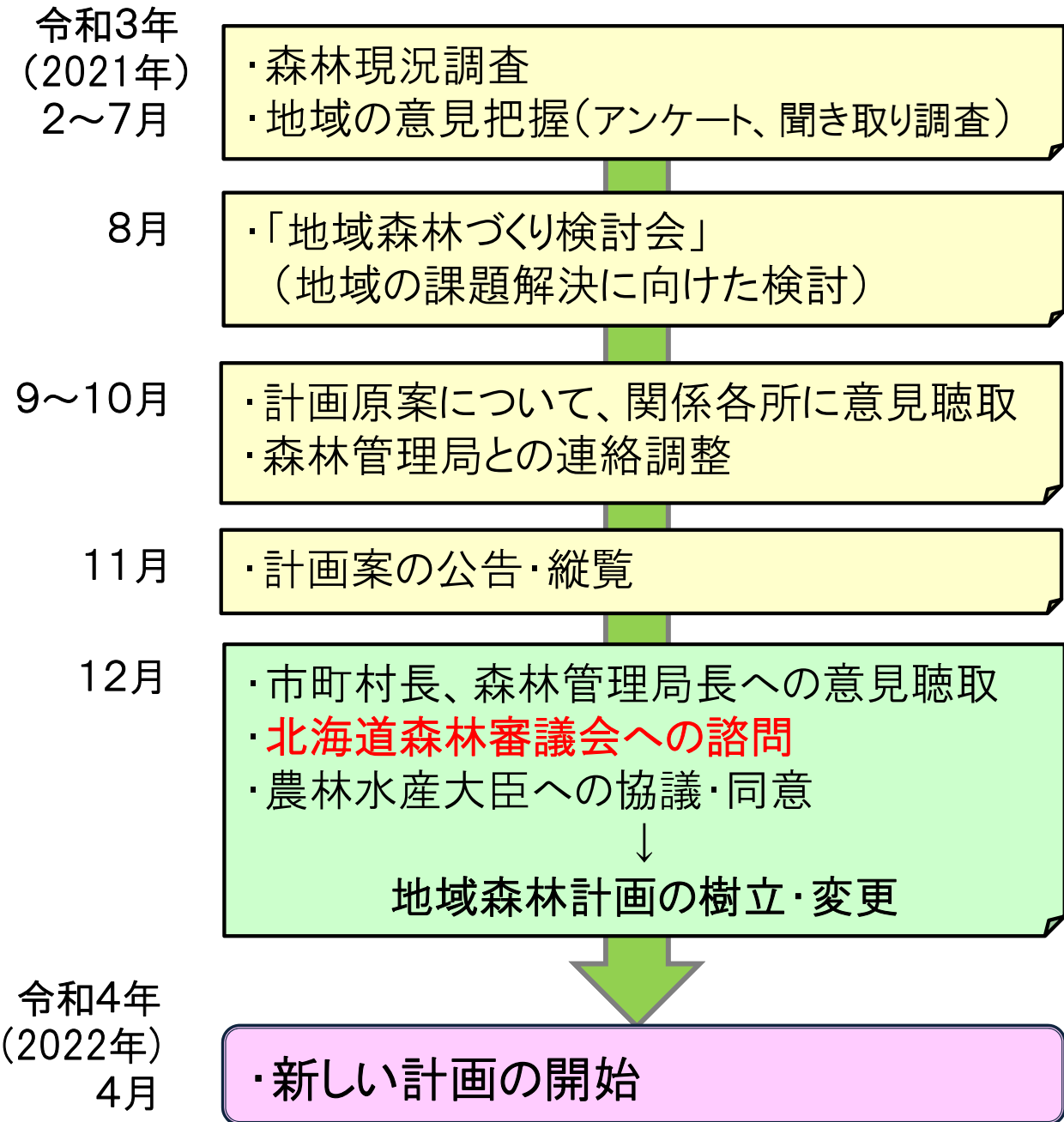
1. 地域森林計画について

「樹立区」と「変更区」



1. 地域森林計画について

地域森林計画策定の流れ



[検討会及び説明会での参加状況]

計画区	開催日	地域森林づくり検討会	
留萌	8/18	(留萌会場)	49名
釧路根室	8/5	(標茶会場)	63名
		(別海会場)	
合計			112名



(留萌会場)



(標茶会場)


2. 地域森林計画(案)について

留萌地域森林計画区

地域の概要


地勢	北海道の北西部に位置し、天売島・焼尻島を有する西部は日本海に面し、北部から南部にかけては天塩山地、増毛山地が連なり、北部は天塩平野につながる。中南部では海岸近くまで丘陵が迫り、河川沿いに平坦地が分布する。
気候	年平均気温 約 7.7℃ 年間平均降水量 約1,171mm 年最深積雪 約275cm 緯度の割に温暖であるが、北部と南部では年平均気温で約2℃の差がある。冬は北西の季節風が強くなり、風速20m以上となる日も珍しくない。
構成	1市6町1村
人口	約43千人(令和2年国勢調査速報) 全道の1%






農業

南北で異なる自然条件を生かし、水稲・畑作物・野菜・果樹・酪農などバラエティーに富んだ農業が営まれる。



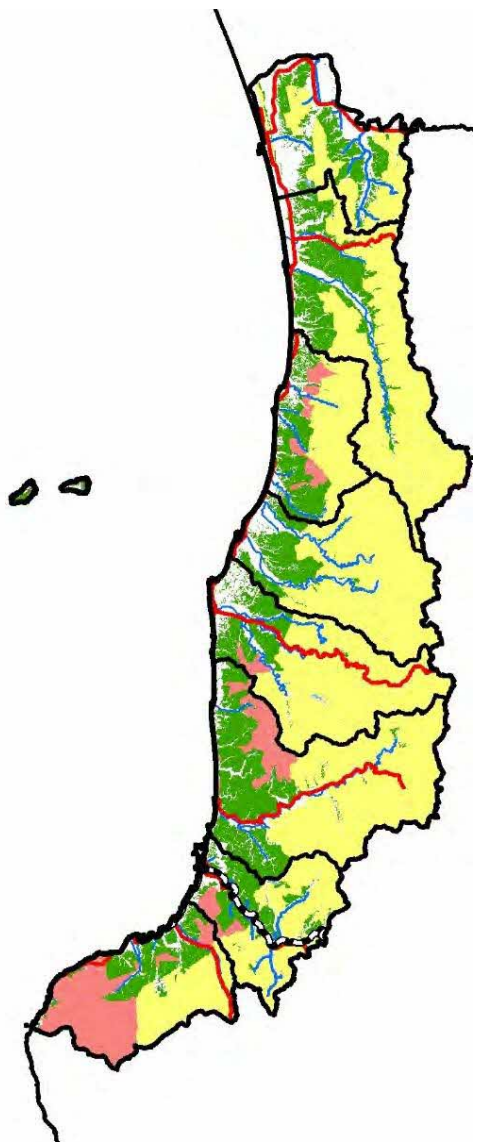
漁業

沿岸ではホタテ稚貝養殖、タコ・ヒラメ漁業、沖合ではエビ漁業が盛んである。



その他

強い季節風を活かし、大型の風力発電施設が設置されている。夏には各地の海水浴場、天売・焼尻島に多くの観光客が訪れる。



凡例

- 国有林
- 道有林
- 一般民有林
- 河川
- 森林計画区界
- 市町村界
- 鉄道
- 主要道

2. 地域森林計画(案)について

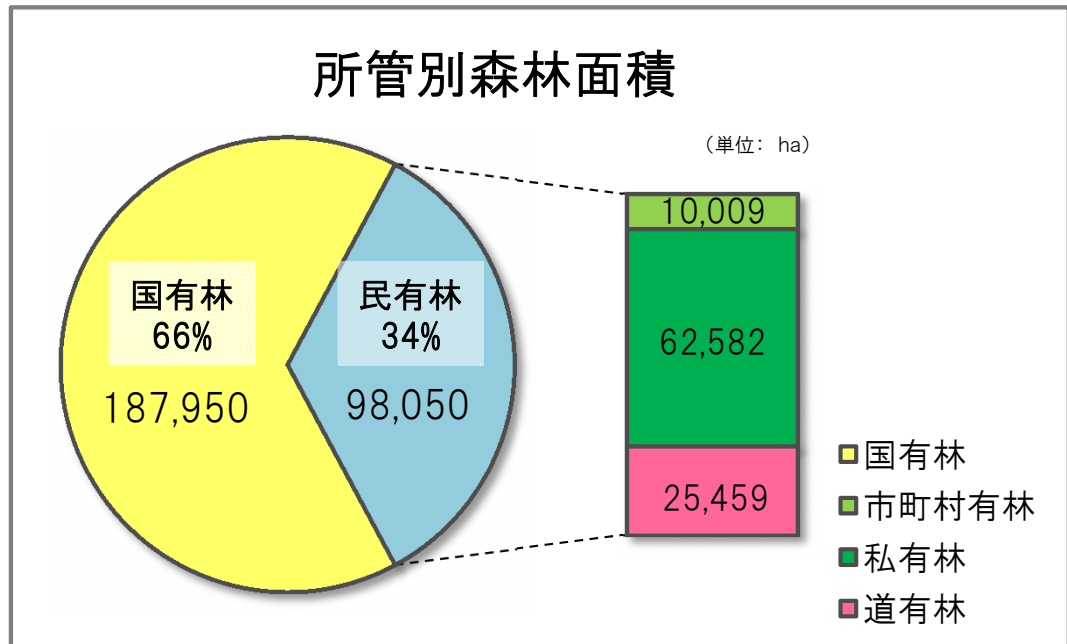
留萌地域森林計画区

■ 森林・林業の概要

(令和2年3月31日現在)

- 森林面積 : 286千ha (総土地面積の約83%)
- 民有林面積 : 98千ha (計画区の森林の34%)
- 民有林蓄積 : 12,098千m³ (ha当たり蓄積 123m³)
- 伐採材積 : 93千m³ (うち民有林 49%)
- 森林経営計画認定面積 : 83千ha (認定率 85%)
- 森林認証取得面積 : 15千ha (取得率 5%)

※令和3年3月30日現在



■ 林業事業体の概要

(令和3年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
留萌	4	8	9	1	2	0
全道	79	386	376	164	197	73



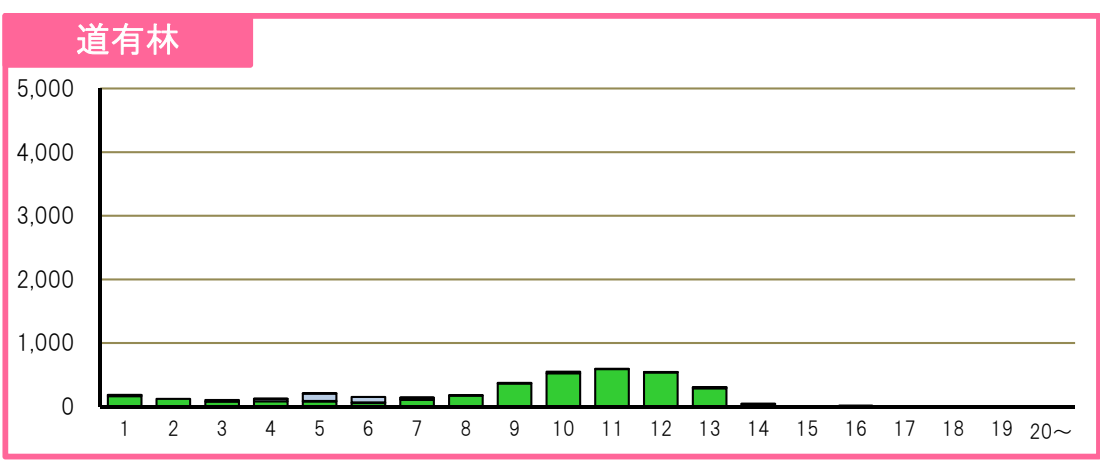
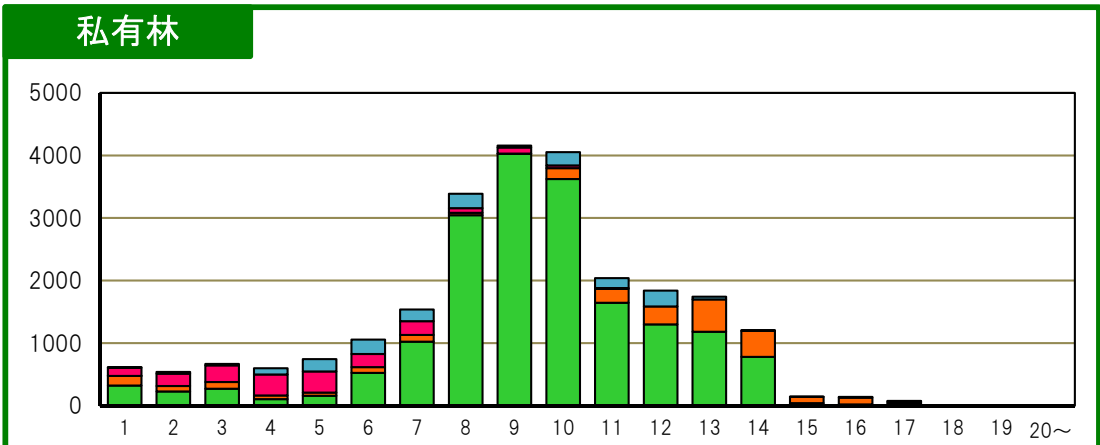
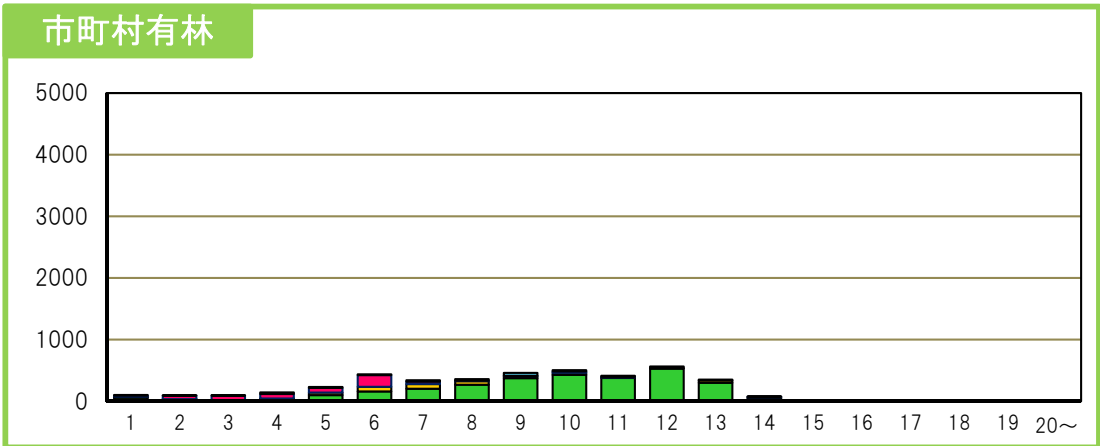
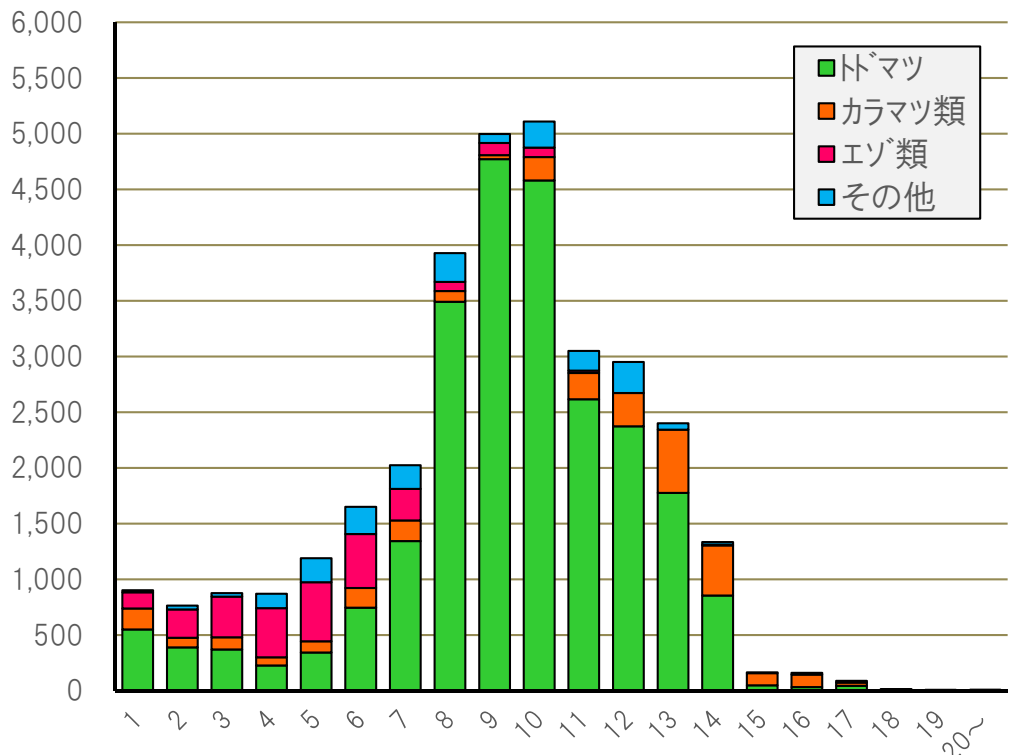
2. 地域森林計画(案)について

留萌地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	4,239 ha	24,576 ha	3,686 ha	32,501 ha
天然林	5,337 ha	35,499 ha	20,187 ha	61,023 ha
無立木地	433 ha	2,506 ha	1,586 ha	4,525 ha
計	10,009 ha	62,582 ha	25,459 ha	98,050 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある (令和3年3月31日現在)

(ha) 【人工林齢級別面積】



(年齢級)

2. 地域森林計画(案)について

留萌地域森林計画区

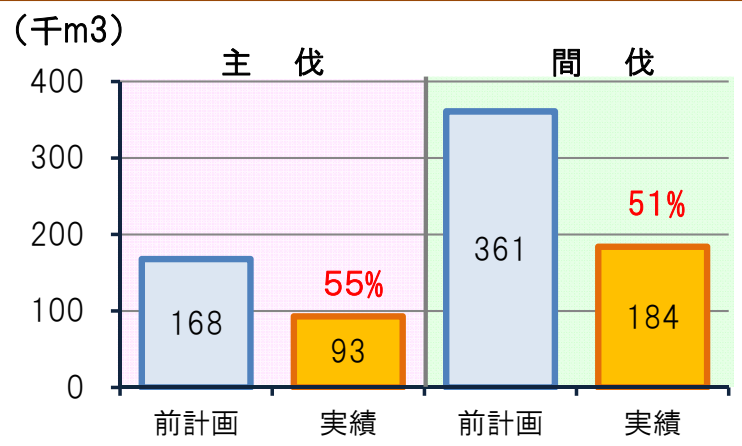
実績及び評価

(平成29年～令和3年)

伐採



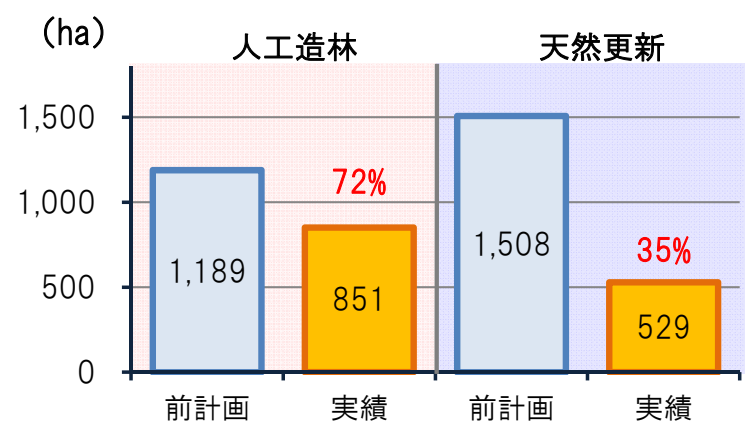
主伐及び間伐は、地域での原木需要が低く、管外への運搬費が掛かり増しとなることなどから、森林所有者の経営意欲が低下しているほか、所有者不明の森林もあるなど、施業が進まず、計画を下回りました。



造林



人工造林及び天然更新は、主伐が進まず、更新すべき森林が少なくなったことから計画を下回りましたが、伐採跡地については適確に更新が進められています。



保安林の指定



保安林の指定は、計画期間内の指定が進んだため計画を上回りました。

(単位 面積:ha)

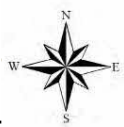
森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養 ^{かん}	248	350	141%
災害防備	-	30	-
計	248	380	153%

2. 地域森林計画(案)について


釧路根室地域森林計画区

地域の概要

地勢	北海道の最東部に位置し、東部はオホーツク海、南部は太平洋に面している。西部から北部に千島火山帯の阿寒・知床山系が連なる南部から東部にかけて広大な波状大地が広がる。釧路湿原、風蓮湖、春国岱など数多くの湿地が存在し、全国の湿地面積の56%を占める。
気候	年平均気温 約 4.1℃ 年間平均降水量 約1,126mm 年最深積雪 約99cm 春から夏に霧が多く発生し、湿潤冷涼な夏 秋から冬は晴天の日が続き、乾燥寒冷な冬
構成	2市10町1村
人口	約294千人(令和2年国勢調査速報) 全道の6%




農業




広大で豊かな土地を活かした大規模な酪農が展開している。

漁業



古くから日本を代表する漁業基地で、サンマなどの沖合漁業、カキなどの栽培漁業が盛んである。

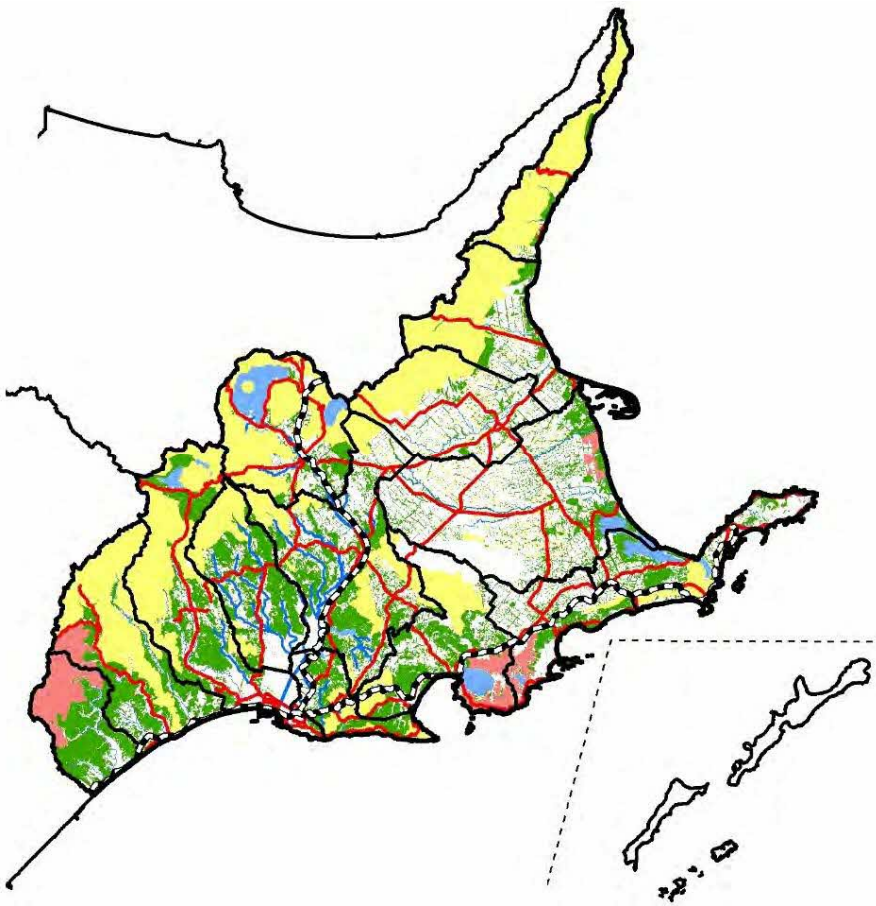
その他



知床・阿寒摩周・釧路湿原国立公園・厚岸霧多布昆布森国定公園などの雄大な自然環境を活かした観光資源がある。

凡例

- 国有林
- 道有林
- 一般民有林
- 河川
- 森林計画区界
- 市町村界
- 鉄道
- 主要道



2. 地域森林計画(案)について

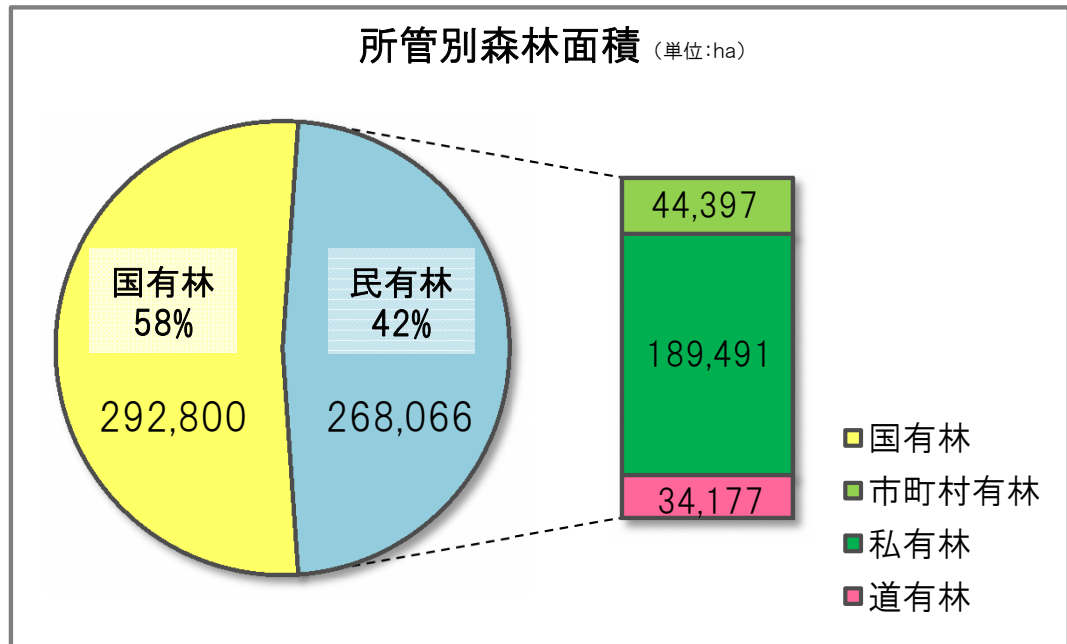
釧路根室地域森林計画区

■ 森林・林業の概要

(令和2年3月31日現在)

- 森林面積 : 561千ha (総土地面積の約59%)
- 民有林面積 : 268千ha (計画区の森林の48%)
- 民有林蓄積 : 40,356千m³ (ha当たり蓄積 151m³)
- 伐採材積 : 439千m³ (うち民有林 50%)
- 森林経営計画認定面積 : 179千ha(認定率 67%)
- 森林認証取得面積 : 32千ha(取得率 8%)

※令和3年3月30日現在



■ 林業事業体の概要

(平成31年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
釧路根室	9	33	37	19	17	4
全道	79	386	376	164	197	73

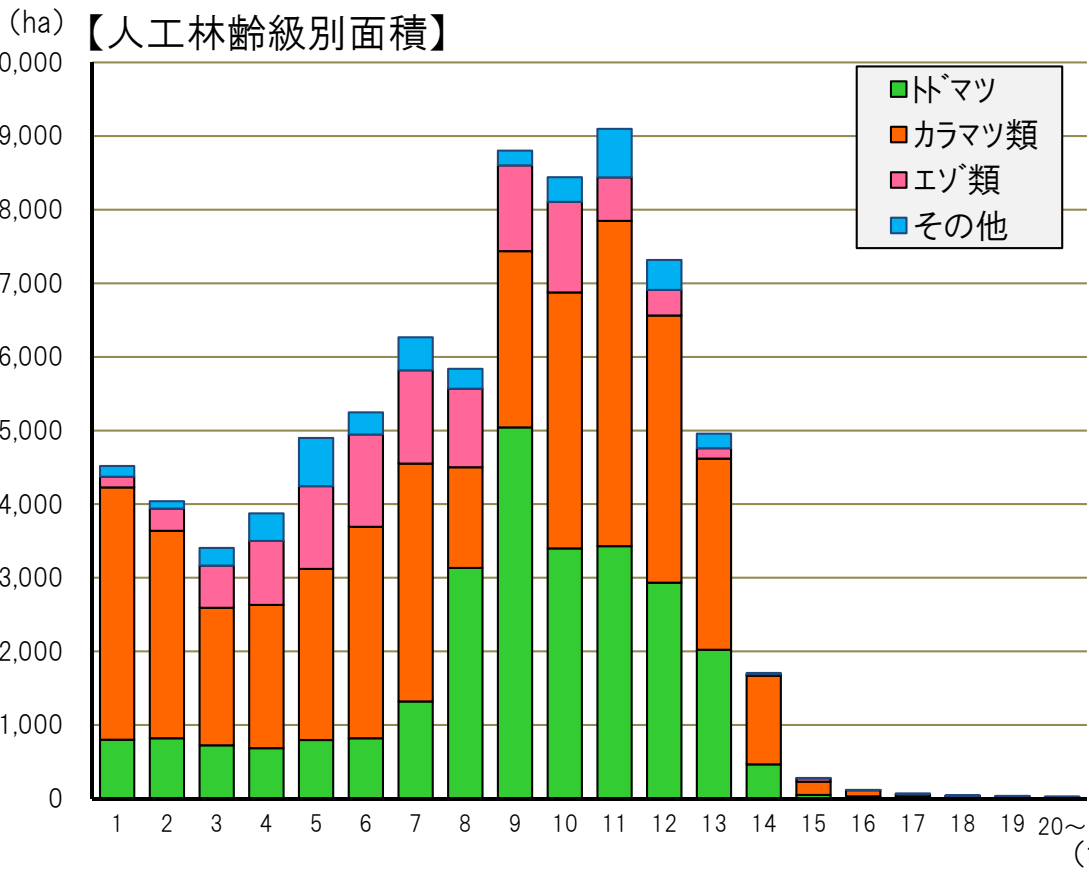
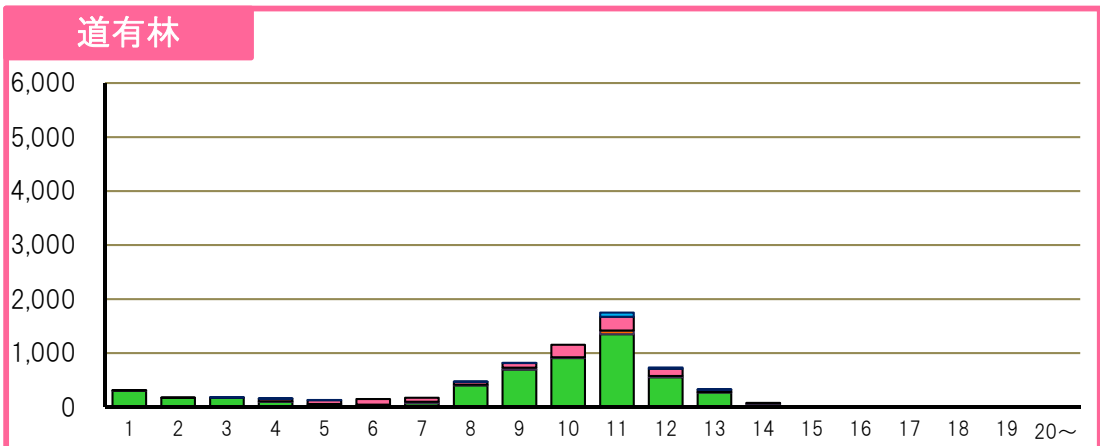
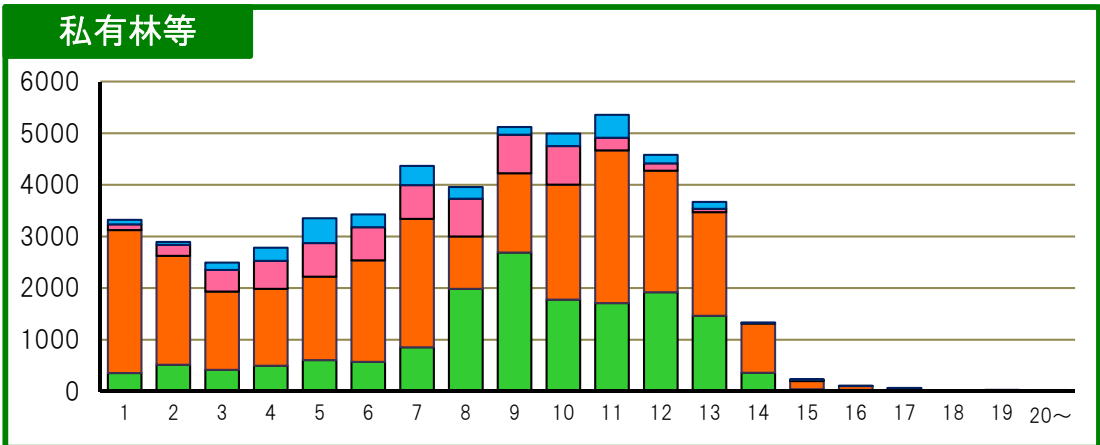
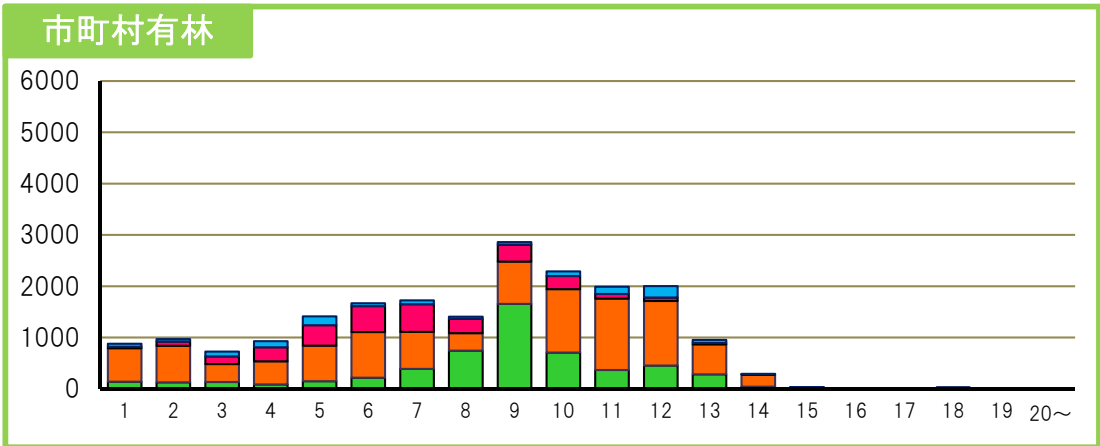


2. 地域森林計画(案)について

釧路根室地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	20,192 ha	52,150 ha	6,667 ha	79,009 ha
天然林	21,269 ha	130,312 ha	27,066 ha	178,647 ha
無立木地	2,936 ha	7,029 ha	445 ha	10,410 ha
計	44,397 ha	189,491 ha	34,177 ha	268,066 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある (令和3年3月31日現在)



2. 地域森林計画(案)について

釧路根室地域森林計画区

実績及び評価

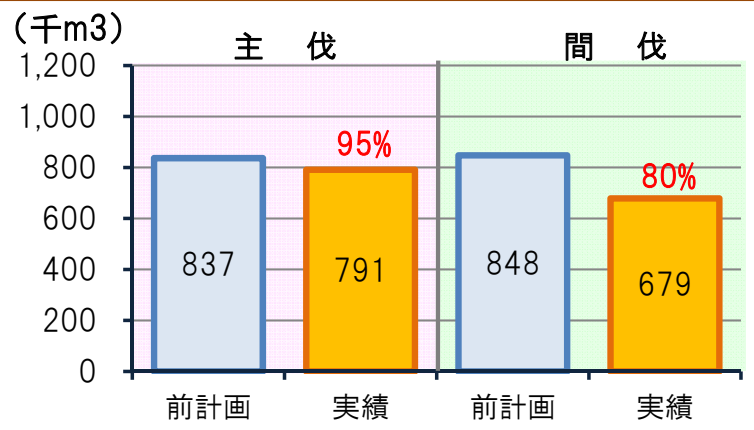
(平成29年～令和3年)

伐採



主伐は、着実に実施され、計画量はおおむね実行されました。

間伐は、面積は計画を下回ったが、高齢級での実施割合が多かったことから、材積はおおむね計画どおりとなりました。

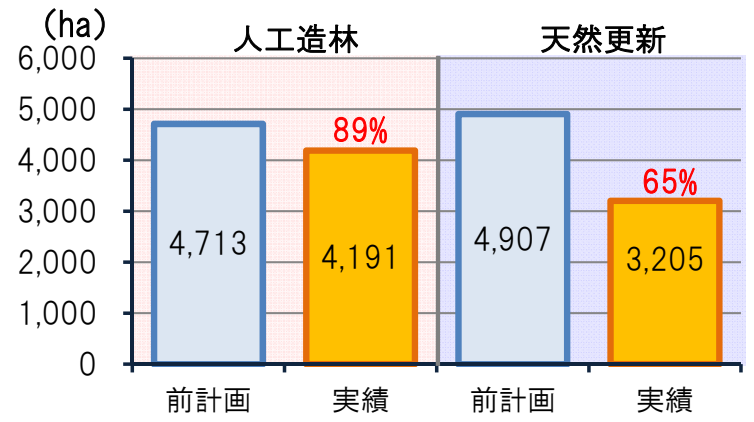


造林



人工造林は、伐採後の植栽が適切に実施されたことから、おおむね計画どおり実行されました。

天然更新は、天然林の択伐が進まず、更新すべき森林が少なくなったことなどから、計画を下回りました。



保安林の指定



保安林の指定は、後期計画に繰り越した箇所があったことから、計画を下回りました。

(単位 面積:ha)

森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養	211	204	97%
災害防備	428	201	47%
保健、風致	-	2	-
計	639	407	64%

2. 地域森林計画(案)について

※重要課題を5つ選択・順位付けし、課題の重要度に応じて配点(1位から順に10、8、6、4、2点)したものを、合計が100点となるよう計算した。

地域における課題の把握(アンケート結果等) ※複数回答

重要と感じる地域の課題	留萌 (n=8)	釧路根室 (n=13)
1 森林経営計画による施業の集約化・低コスト化	9点	3点
2 森林管理のための森林情報の収集・整備	12点	4点
3 計画的な伐採・造林施業	★ 19点	★ 16点
4 優良な苗木の安定供給	0点	6点
5 間伐の推進	11点	2点
6 造林・保育の軽労化	4点	7点
7 路網整備の推進	★ 16点	6点
8 森林被害の防止	1点	★ 8点
9 水資源の保全	0点	0点
10 生物多様性の保全	0点	7点
11 長期間放置された人工林や伐採跡地などの整備	11点	6点
12 山地災害の防止	0点	3点
13 担い手育成・確保	★ 15点	★ 18点
14 地域材の利用拡大	2点	7点
15 木質バイオマス資源の利用	0点	1点
16 木育の促進	0点	4点
17 その他	0点	2点

2. 地域森林計画(案)について

地域における課題の把握(アンケート結果等)

○主な意見等

[留萌]

3 計画的な伐採・造林

- ・主伐後の再造林等の負担が見込めず、森林所有者の施業意欲が低下
- ・主伐期を迎え、高齢級の林分が多い

7 路網整備の推進

- ・急峻な地形によるコストの増加
- ・幹線道路が少なく接続できる道路が少ない
- ・農地等が森林の手前にあることにより、作設が難しい

13 担い手の育成・確保

- ・造林作業者の高齢化
- ・新規採用者の定着率が低い
- ・事業量の維持が難しい



[釧路根室]

3 計画的な伐採・造林

- ・地域全体として森林所有者の施業意欲の減退
- ・連絡の取れない森林所有者が多い
- ・森林経営計画の策定率が低く、主伐及び主伐後の更新が進んでいない。

8 森林被害の防止

- ・気象害や獣害が発生しており、被害に対する防止対策が必要。
- ・獣害の中でもエゾヤチネズミによる被害が深刻であり、毎年補植を要している。

13 担い手の育成・確保

- ・担い手不足により、森林施業の遅れや年間の施業量が制限されている。



2. 地域森林計画(案)について

留萌地域森林計画区

【地域の課題】

・計画的な伐採・造林

主伐期を迎えた林分の伐採が進まず、更新が進んでいないため、公益的機能の発揮や人工林資源の持続的な活用していくため、計画的に森林を更新していくことが必要。



【取組方向】

- ◆ 意向調査等により、森林経営計画認定率の向上及び施業の集約化を促進
- ◆ 森林認証取得に取り組み、地域の森林管理レベルの向上や持続可能な森林の管理・経営を図る

・路網整備の推進

急峻な地形などにより路網が不足しており、今後、森林施業を効率的に実施するため、路網整備を進めることが必要。



- ◆ 路網整備が見込める森林において、先行的に整備し、効率的・計画的な伐採・再造林を推進
- ◆ 路網の共有や維持、補修等を行うことにより、施業の効率化や低コスト化を推進

・担い手の育成・確保

林業労働者の高齢化が進んでおり、今後の事業量に対応するためには担い手の育成と確保造林、保育等の作業の軽労化や省力化の取り組みなどの対策が必要。



- ◆ 「地域に担い手確保推進会議」を中心とした、に相手の育成や確保
- ◆ 「北の森づくり専門学院」と連携を図り、実習フィールドの確保や学生の受入
- ◆ 軽労化や省力化について、併せて検討を実施

2. 地域森林計画(案)について

釧路根室地域森林計画区

【地域の課題】

・計画的な伐採・造林

林業採算性の長期低迷等の理由により、森林所有者の森林経営に対する意欲が低下し、伐採が進まないことが課題



【取組方向】

- ◆ 意向調査等により、森林経営計画認定率の向上及び施業の集約化を促進

・森林被害の防止

野ねずみやエゾシカによる林業被害が多い地域であり、野ねずみ対策については殺そ剤散布、エゾシカ対策については罠や銃器による捕獲を実施しているが、被害や個体数は依然として高い水準である



- ◆ 耐そ性の高い樹種であるクリーンラーチ等の活用
- ◆ 野ねずみの生息し難い林内の環境づくり
- ◆ エゾシカ対策は、罠や銃器による捕獲や関係機関と連携

・担い手の育成・確保

林業労働者の高齢化が進んでおり、若手の林業労働者の割合が低く、今後の事業量に対応するためには担い手の育成と確保が必要



- ◆ 「地域担い手確保推進協議会」を中心とした、担い手の育成や確保
- ◆ 「北の森づくり専門学院」との連携、実習フィールドの確保や学生の受入
- ◆ 軽労化や省力化について、併せて検討を実施

2. 地域森林計画(案)について

○立木の標準伐期齢※1に関する指針

標準的な立木の伐採(主伐)の時期に関する指標

樹種		林齢
人工林	エゾマツ・アカエゾマツ	60
	トマツ	40
	カラマツ(グイマツとの交配種を含む)	30 ※2
	その他針葉樹	40
	カンバ・ドロノキ・ハンノキ(天然林を含む)	30
	ヤナギ※3	5
	その他広葉樹	40

※2 留萌、宗谷計画区は35年

※3 敷料等の木質バイオマス利用の促進を図るため短伐期で主伐を繰り返すヤナギ林に限ることとし、保安林及び保安施設地区並びに公益的機能別施業森林は除く

※1 標準伐期齢
樹木の平均成長量が最大となる林齢等を基準に定めた、地域の標準的な伐採(主伐)の時期に関する指標。

樹種		林齢
天然林	主として天然下種によって生立する針葉樹	60
	主として天然下種によって生立する広葉樹	80
	主としてぼう芽によって生立する広葉樹	25



[参考]森林施業の実施に関する基準

	水源涵養林 ^{かん}	山地災害防止林、生活環境保全林 保健文化機能等維持林		木材等生産林
		長伐期施業を 推進すべき森林	複層林施業を 推進すべき森林	
適正な林齢での主伐	標準伐期齢 +10以上	標準伐期齢のおおむね 2倍以上に相当する林齢 として市町村森林整備計画 において定めた林齢	標準伐期齢以上	標準伐期齢以上

2. 地域森林計画(案)について

○人工造林の標準的な方法に関する指針

主要樹種の植栽本数に関する指標

計画区	仕立ての方法	樹 種				
		カラマツ	トマツ	アカエゾマツ	その他針	広葉樹
留 萌	中庸仕立て	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha
	疎仕立て	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha
釧路根室	中庸仕立て	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,500本/ha
	疎仕立て	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	—



2. 地域森林計画(案)について

○間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針

主要樹種ごとの標準的な間伐時期等に関する指標



計画区	樹種	施業方法			間伐の時期(林齢)					間伐の方法	
		植栽本数	仕立て方法	主伐時の設定	初回	2回	3回	4回	5回	選木方法	間伐率(材積率)
留 萌	カラマツ(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	450本/ha	24~28	34~38	46~50	-	-	定性及び定量	20~35%
	トマツ(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	500本/ha	22~26	30~34	38~42	48~52	-	定性及び定量	20~35%
	アカエゾマツ(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	22~26	29~33	39~43	51~55	64~68	定性及び定量	20~35%
釧路根室	カラマツ(釧路)(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	17~21	24~28	32~36	40~44	-	定性及び定量	20~35%
	カラマツ(根室)(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	450本/ha	24~28	34~38	46~50	-	-	定性及び定量	20~35%
	トマツ(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	500本/ha	22~26	30~34	38~42	48~52	-	定性及び定量	20~35%
	アカエゾマツ(一般材)	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	21~25	27~31	35~39	45~49	58~62	定性及び定量	20~35%

2. 地域森林計画(案)について

留萌地域森林計画区

計 画

(令和4年～令和13年)

伐 採

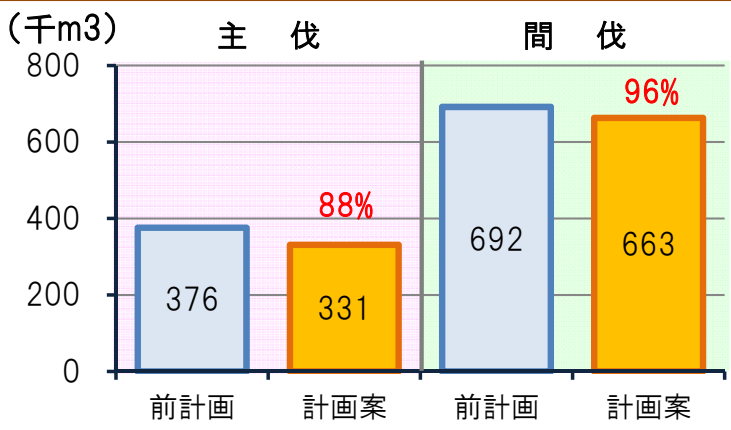


[主 伐]

人工林の主伐対象資源が増加するものの、成長量が小さいことや実績などを踏まえて見直したことから、前計画を下回る計画。

[間 伐]

人工林が主伐期に移行し、対象となる人工林は減少することから、前計画を下回る計画。



造 林

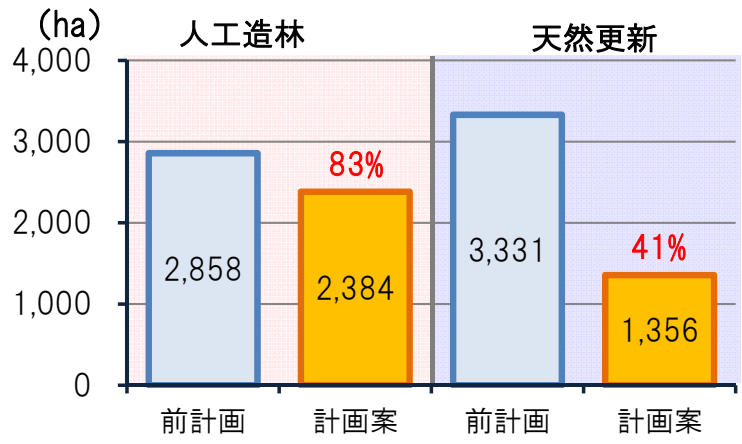


[人工造林]

主伐量の減少に伴い、更新面積が減少することから、前計画を下回る計画。

[天然更新]

前期の実績を踏まえ、天然林における育成複層林への誘導ペースを見直したことから、前計画を下回る計画。



保安林の指定



水源の涵養^{かん}や土砂流出の防備などの森林の機能が失われないように保安林の指定を計画的に実施する。

(単位 面積:ha)

森林の種類	指定計画
水源涵養 ^{かん}	1,026
災害防備	1,237

2. 地域森林計画(案)について

釧路根室地域森林計画区

計 画

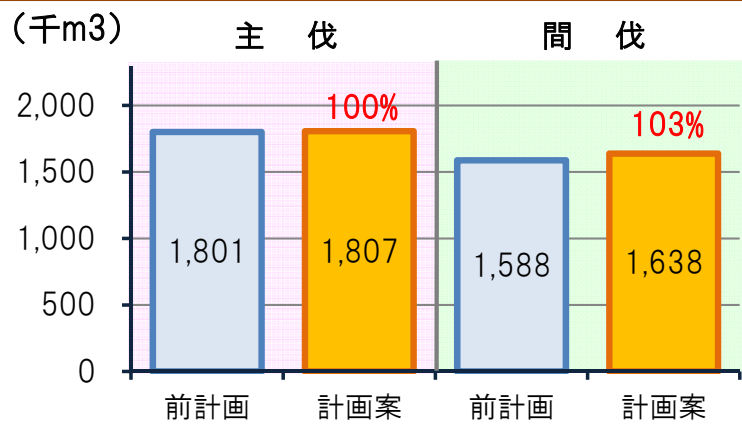
(令和4年～令和13年)

伐 採



[主 伐]
引き続き人工林資源が充実することから、前計画と同程度の計画。

[間 伐]
蓄積の大きい高齢級の人工林割合が増加するため、前計画と同程度の計画。

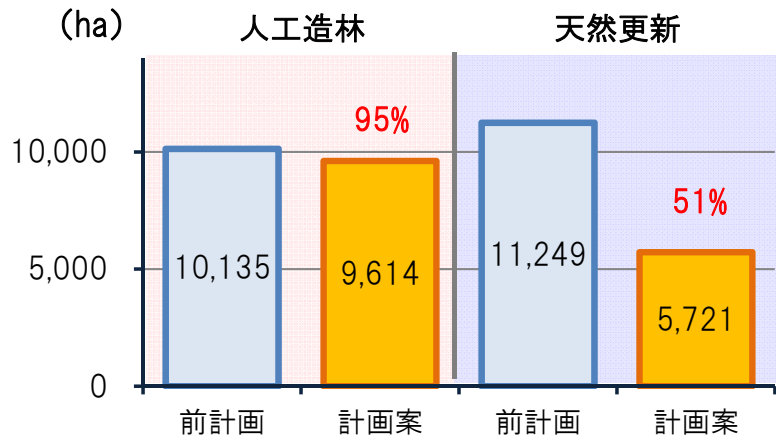


造 林



[人工造林]
主伐が前計画と同程度であること及び前計画の実行量を考慮し、前計画をやや下回る計画。

[天然更新]
前期の実績を踏まえ、天然林における育成複層林への誘導ペースを見直したことから、前計画を下回る計画。



保安林の指定



水源の涵養^{かん}や土砂流出の防備などの森林の機能が失われないように保安林の指定を計画的に実施する。

(単位 面積:ha)

森林の種類	指定計画
水源涵養 ^{かん}	1,605
災害防備	428

全国森林計画の変更による 地域森林計画の一斉変更について

- 特に効率的な施業が可能な森林の設定
- 森林資源の保続が可能な主伐量の上限の検討
- 計画量の見直し

その他、市町村森林整備計画における変更を含め、

- ・集材路の作設など搬出方法に対する指導体制の確立
- ・伐採権者と造林権者の役割の明確化
- ・無断伐採等に関する情報を提供できる仕組みの実現
などを変更








3. 地域森林計画変更計画(案)について

計画区共通事項

○特に効率的な施業が可能な森林の設定

【森林の区域の設定状況(道有林・一般民有林)】

(単位:千ha)

発揮を期待する機能		発揮を期待する機能に応じた森林の区域	北海道		留萌		釧路根室		
			面積	割合	面積	割合	面積	割合	
	水源涵養機能	水源涵養林	1,092	44%	42	43%	97	36%	
		水資源保全ゾーン	128	5%	10	10%	3	1%	
	山地災害防止機能 土壌保全機能	山地災害防止林	389	16%	18	18%	16	6%	
	快適環境形成機能	生活環境保全林	60	2%	0	0%	28	11%	
	保健・レクリエーション機能	保健・文化機能等維持林	161	6%	6	6%	19	7%	
	文化機能	生物多様性ゾーン	水辺林タイプ	34	1%	-	-	15	5%
	生物多様性保全機能		保護地域タイプ	54	2%	0	0%	3	1%
	木材等生産機能	木材等生産林	1,027	42%	54	55%	128	48%	
		特に効率的な施業が可能な森林	-	-	-	-	-	-	
[参考] 森林面積			2,472		98	-	268		

※割合については、森林面積(計画区別)に対する百分率
 ※重複があるため、各割合の合計は100%を越える
 ※各機能に応じた森林の区域は、市町村森林整備計画において設定

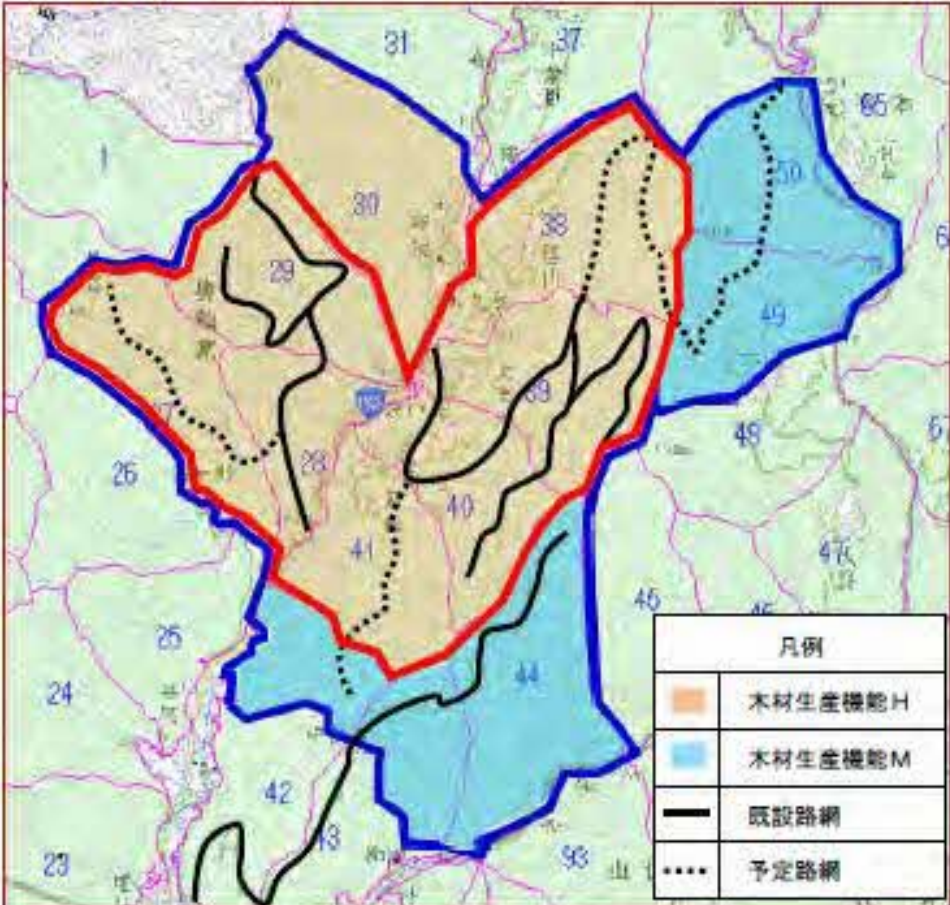
(令和3年3月31日現在)

3. 地域森林計画変更計画(案)について

計画区共通事項

○特に効率的な施業が可能な森林の設定

木材生産機能維持増進森林のうち、林地生産力（地位）及び施業の効率性（地利）が特に高い森林を特定



■ 木材生産機能維持増進森林

- 区域の設定
林木の生育に適した森林、林道等の開設状況等から効率的な施業が可能な森林で、自然条件等から一体として森林施業を行うことが適当と認められる森林
- 更新の方法
植栽による確実な更新を推進することを基本とする

■ 木材生産機能維持増進森林のうち、特に効率的な施業が可能な森林の区域

- 区域の設定
木材生産機能維持増進森林のうち、自然的・社会的条件等を勘案し、森林の一体性を踏まえつつ、特に効率的な森林施業が可能な森林
- 更新の方法
人工林の皆伐跡地については、原則、植栽による更新を行う

(林野庁提供資料)

3. 地域森林計画変更計画(案)について

計画区共通事項

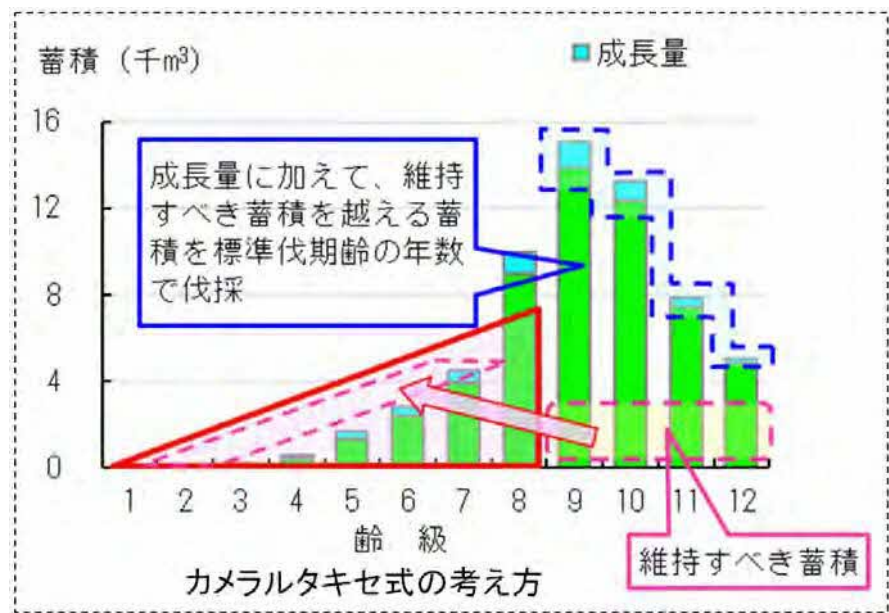
○ 森林資源の保続が可能な主伐量の上限の検討

※計画区における育成単層林として維持すべき森林を対象に、森林資源を平準化していく伐採量を算出する計算式（カメラルタキセ式）により、「主伐（皆伐）上限量の目安」を算出。また、これに再造林率を乗じ、再造林率に応じた「持続的伐採可能量」を算出し、各表を地域森林計画書の参考資料へ添付。

(計算方法)

○市町村森林整備計画のゾーニングにおける下記の区域を集計

- ・公益的機能別施業森林以外であり、木材等生産機能維持増進森林である森林
- ・水源涵養機能維持増進森林のうち、他の公益的機能別施業森林と重複していない森林



第1表 主伐（皆伐）上限量の目安（年間）

主伐（皆伐）上限量の目安（千m³）	
留萌	釧路根室
212	589

第2表 再造林率に応じた持続的伐採可能量（年間）

再造林率(%)	持続的伐採可能量（千m³）	
	留萌	釧路根室
100	212	589
90	191	530
80	170	471
70	148	412
60	127	353
50	106	295
40	85	236
30	64	177
20	42	118
10	21	59

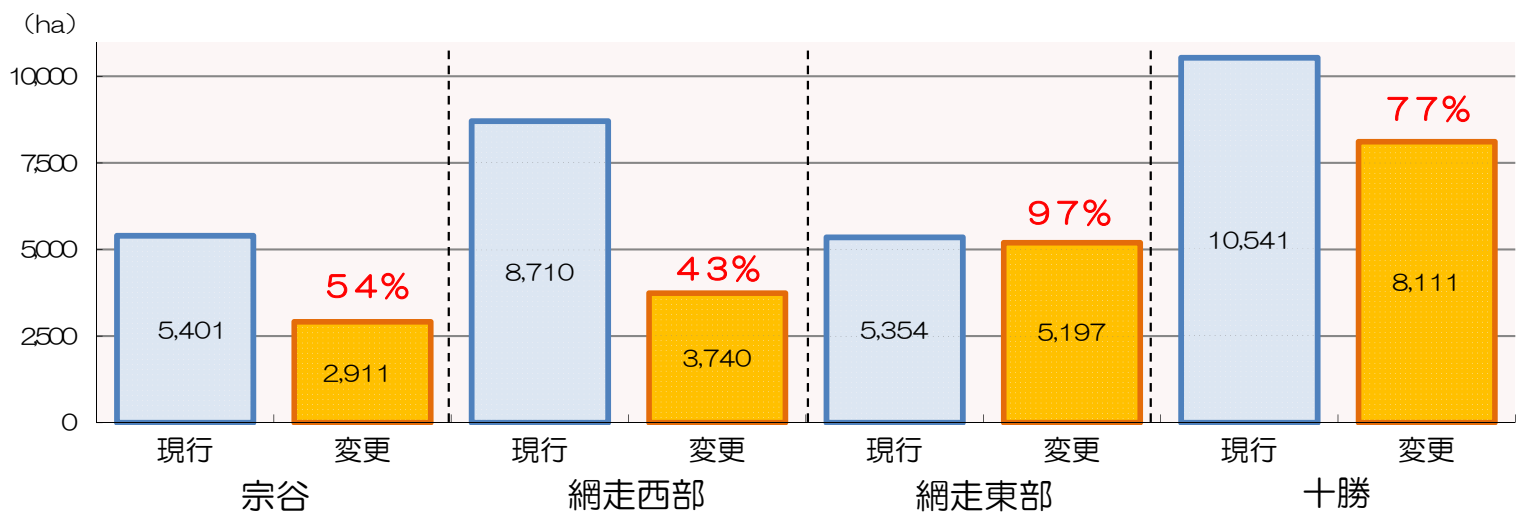
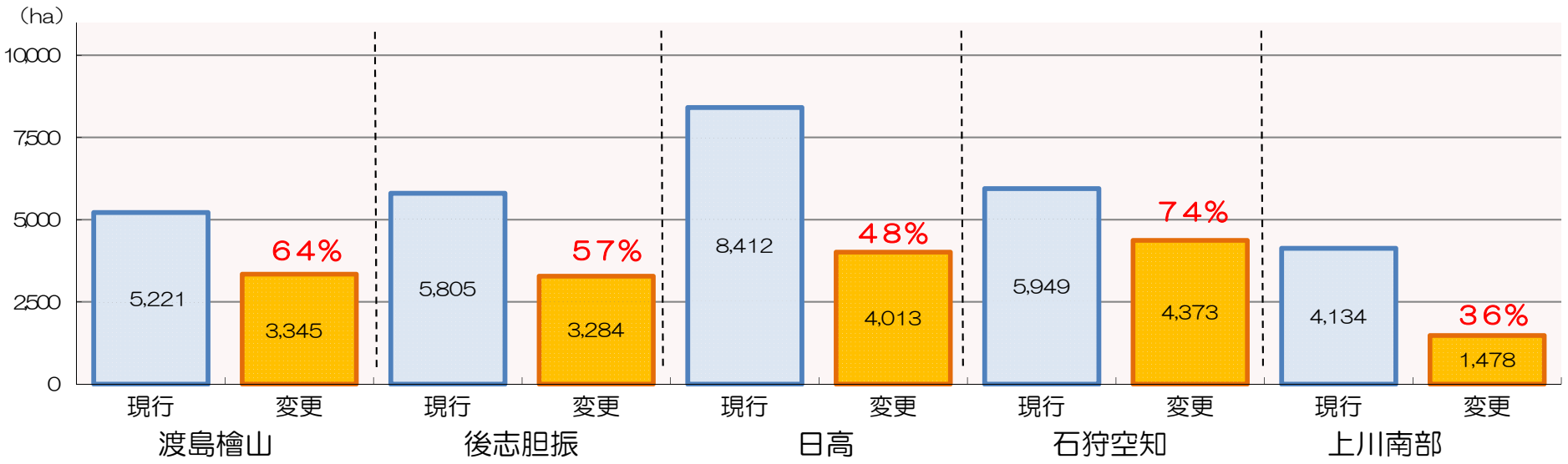
3. 地域森林計画変更計画(案)について

地域森林計画変更計画(案)の概要

○全国森林計画の変更に伴う計画量の見直し

・天然更新

※実績を踏まえ天然更新量を減少



※胆振東部・上川北部
計画量の変更無し。

3. 地域森林計画変更計画(案)について

地域森林計画変更計画(案)の概要

□ 計画の対象とする森林の区域の変更

・森林への編入、森林以外への転用

計画区	増 減	主な増減事由
渡島檜山	▲36	電力施設用地、畑等への転用
後志胆振	75	草地、住宅地等からの編入
胆振東部	▲44	ダム敷(用)地、草地等への転用
日高	▲18	草地、採石地等への転用
石狩空知	▲16	採石地、スキー場等への転用
上川南部	4	国有林野、畑等からの編入
上川北部	▲25	照査による精度向上のため
宗 谷	▲67	照査による精度向上のため
網走西部	▲65	草地、道路敷地等への転用
網走東部	▲101	畑、住宅地等への転用
十 勝	▲189	電力施設用地、畑等への転用
合 計	▲482	

□ 要整備森林の変更

・指定: 該当無し、解除: 2計画区、2地区(4箇所)

計画区	区分	変更内容
網走西部	解除	1地区(1箇所) 10.20ha
上川南部	解除	1地区(3箇所) 6.82ha

3. 地域森林計画変更計画(案)について

地域森林計画変更計画(案)の概要

□ 林道の開設及び拡張の変更

・開設:21路線追加、拡張:71箇所追加

計画区	区分	変更内容
渡島檜山	開設	1路線追加(1.5km増)
	拡張	4箇所追加(0.3km増)
後志胆振	開設	2路線追加(後期計画のみ)
	拡張	4箇所追加(3.1km増)
胆振東部	開設	6路線追加(13.7km増)
日高	開設	1路線追加(2.6km増)
	拡張	38箇所追加(1.7km増) 2箇所後期計画に見送り(0.2km減)
石狩空知	開設	1路線追加(4.0km増) 1路線後期計画に見送り(3.7km減)
	拡張	17箇所追加(10.6km増) 5箇所削除(後期計画のため増減無) 11箇所後期計画に見送り(7.8km減)

計画区	区分	変更内容
上川南部	開設	1路線削除(2.5km減)
	拡張	1箇所追加(0.1km増)
上川北部	開設	4路線追加(5.7km増) 5路線後期計画に見送り(12.6km減)
	拡張	1箇所追加(0.1km増)
網走西部	開設	1路線追加(1.5km増)
	拡張	1箇所追加(0.1km増)
網走東部	開設	2路線追加(13.0km増)
	拡張	3箇所追加(0.1km増)
十勝	開設	3路線追加(5.8km増)
	拡張	2箇所追加(0.2km増)